

AI（人工知能）問診導入の成果

～スタッフへの聞き取り調査～

主研究者 大岡 綾香

共同研究者 橘高 瑠奈
栞原 千春
小倉 寿枝



はじめに

我が国においては少子超高齢多死社会に突入し、地域包括ケアシステムの構築と推進が図られている。

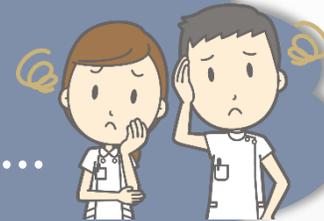
そのような状況下において看護師の需要が高まる一方、少子化により生産人口は減少し看護師確保も困難になると見込まれている為、業務の効率化は喫緊の課題である。

→ ICT (Information and Communication Technology)
人工知能 (AI) の導入

AI問診導入前

移動時間…

記載内容もさまざま…
的を得ているのか不安…



患者来院

患者の待機場
所へ行き
紙問診依頼

紙問診
受け取り

追加問診
バイタルサイン
測定

カルテ入力

診察

感染の疑いのある
患者に接触

→ 非効率的



AI問診導入開始

2023年1月24日～

発熱外来・小児科を対象



AI問診導入開始

研究目的

導入から半年が経ち、AI問診導入後の成果を明らかにする。

研究期間

2023年9月～2024年1月

研究方法

- ① デザイン 質的研究
- ② 対象 発熱外来と小児科外来に携わった医師3名と看護師18名
- ③ 方法 半構成的質問用紙を使用し、聞き取り調査を行う。

倫理的配慮

聞き取り調査を行う際に、研究の主旨を説明し、同意を得る。
また途中で中止できることも説明する。

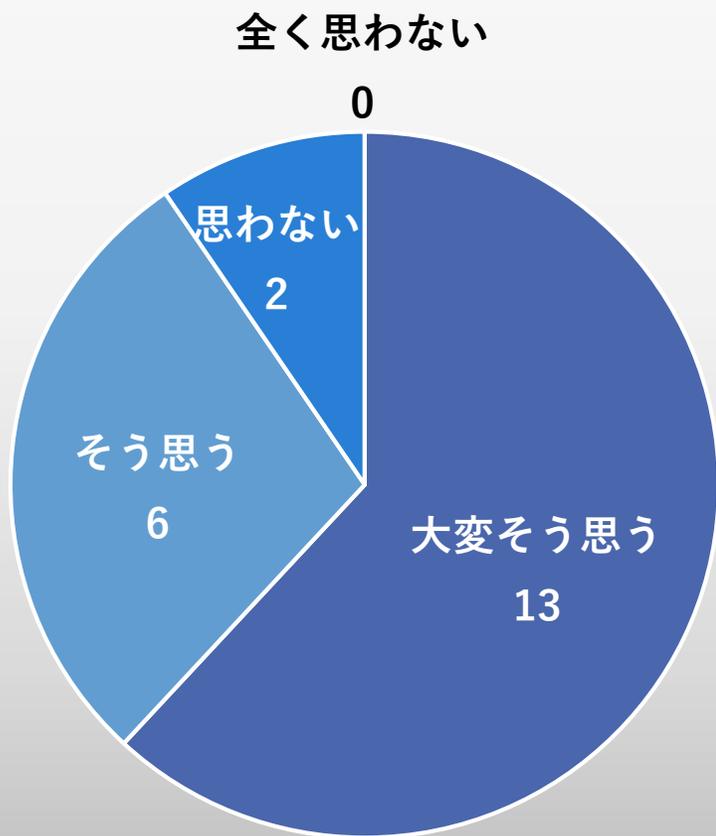
収集した情報の取り扱い及び処理には細心の注意を払い、個人情報の遵守に十分な配慮を行うことを厳守する。

インタビュー内容は研究担当者以外には共有しないこと、そして個人が特定されないように情報は匿名化する。

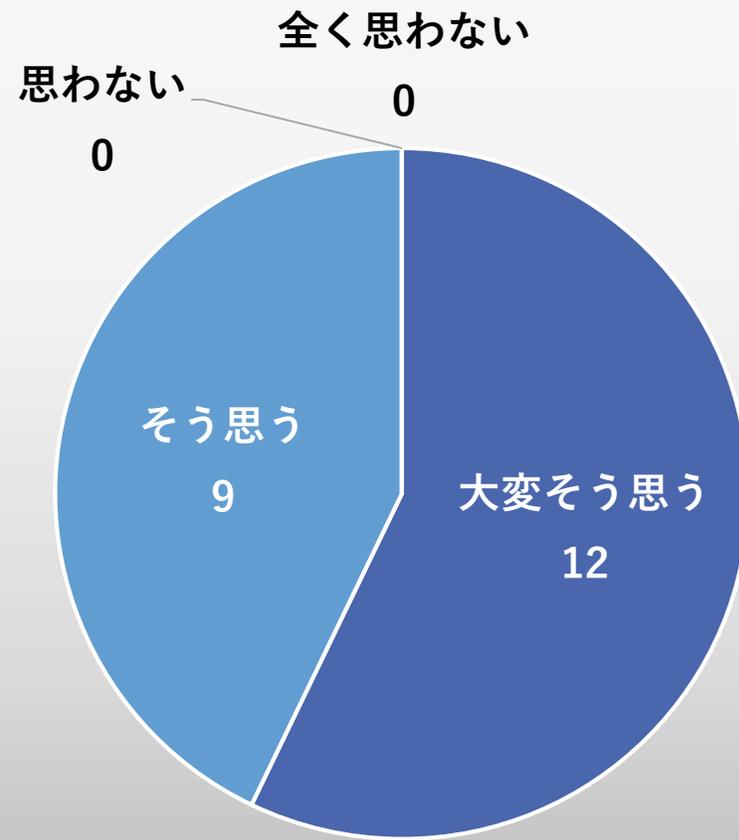
データは鍵のかかる引き出しに保管し、研究終了後には収集した全データを破棄を行うこととする。

結果 - 問診時間 -

AI問診導入前（紙問診）
問診に時間がかかっていましたか



AI問診導入後
問診時間が短縮できたと思いますか

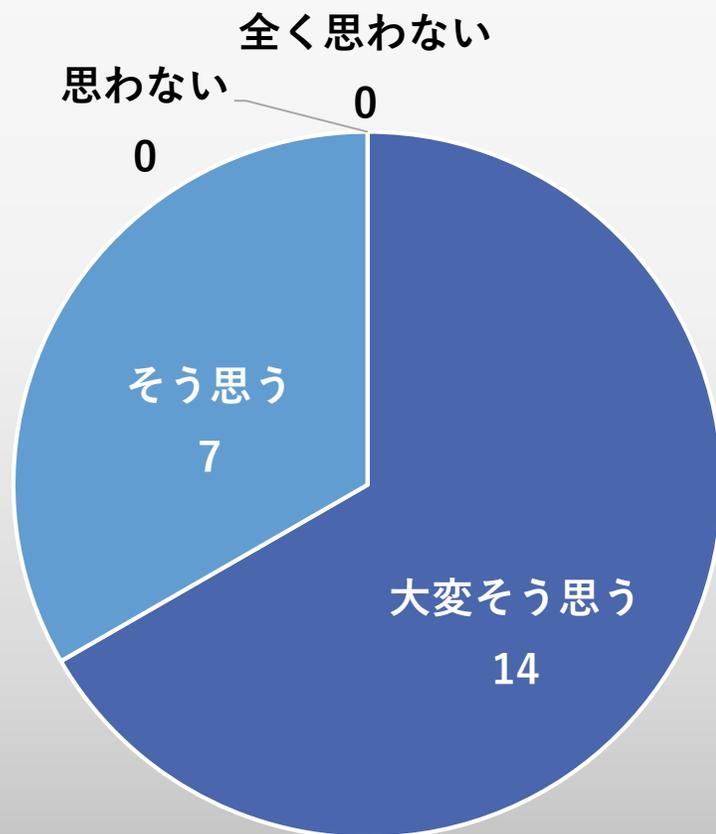


結果

— カルテ入力時間 —

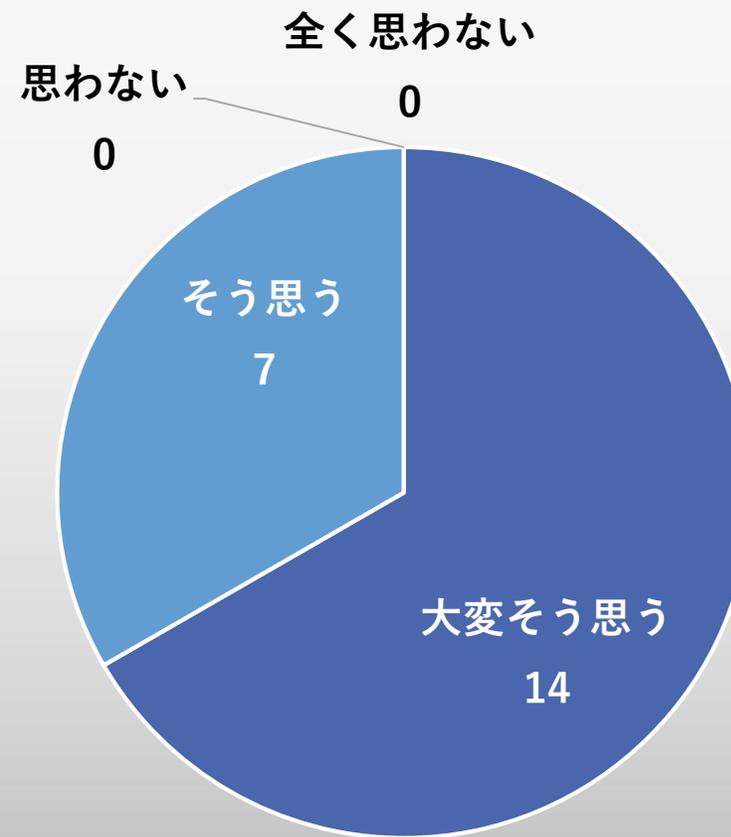
AI問診導入前（紙問診）

カルテ入力に時間がかかっていましたか



AI問診導入後

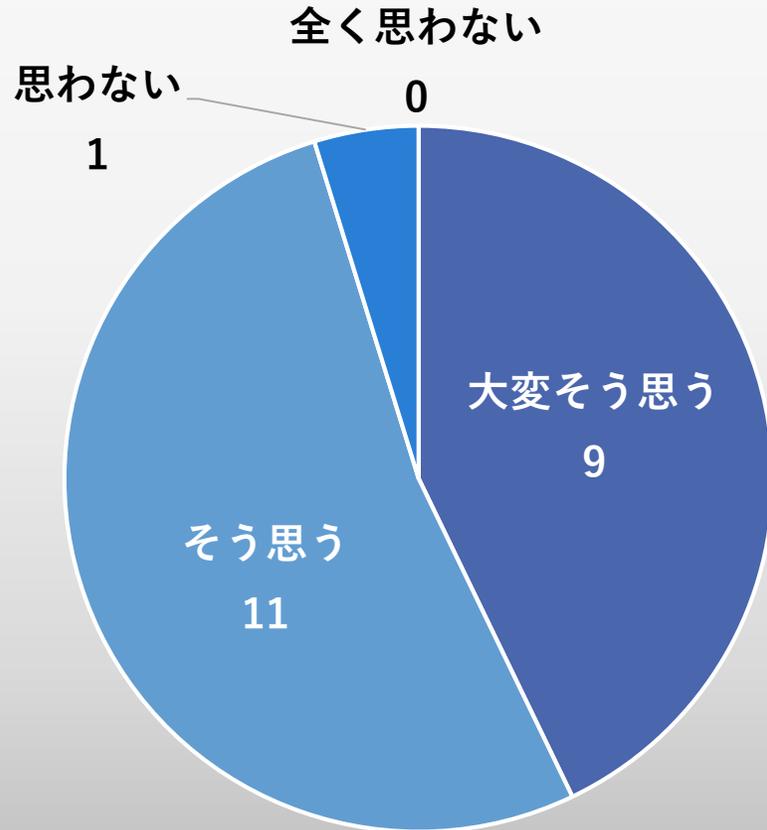
カルテ入力時間が短縮したと思いますか



結果

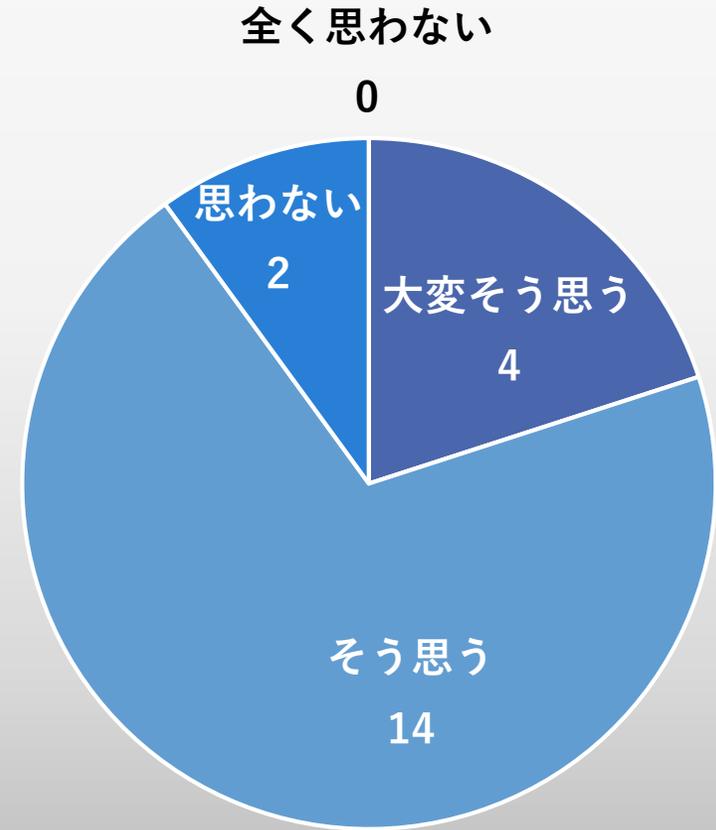
AI問診導入前（紙問診）

自分自身が感染するという不安がありましたか



AI問診導入後

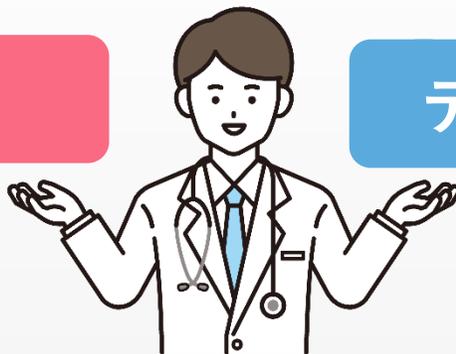
追加問診の時間が短縮したと思いますか



AI導入前（紙問診）についての自由意見

メリット

- ・ 実際に患者の顔、状態をみられるから把握できる
- ・ 対面で話ができる為様子が分かる
- ・ 患者の表情・顔色を見れる
- ・ 患者を直接見れる為重症度の判断ができる
- ・ 状態を見ながら問診が取れる
- ・ 自分の言葉で伝えることができる為、相手もわかりやすい
- ・ 自分の思うように詳しく聞ける
- ・ AIの方が細かい為患者にとって楽



デメリット

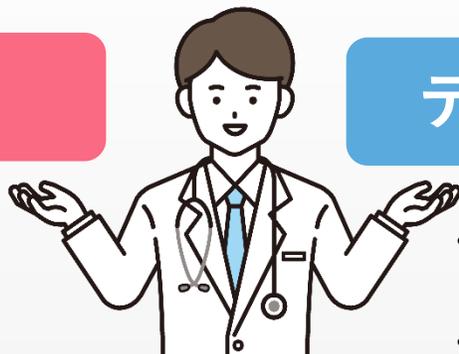
- ・ 接触時間が長く、感染しやすくなる
- ・ 直接会話する為、感染リスクがある
- ・ 問診をきちんと聞いておらず聞き直すこともある
- ・ 聞く看護師がどこまで知識をもっているかによって問診の質が変わってくる
- ・ 往復の時間、一人に対しての時間が多く必要
- ・ 移動が大変
- ・ 問診を取り、入力をしての手間と時間
- ・ 問診に時間がかかる
- ・ 電話が面倒だった



AI問診導入後についての自由意見

メリット

- ・ 感染リスクの軽減
- ・ 接触時間が減少
- ・ 問診時間の減少
- ・ 看護師による問診がカットされた為、追加問診からの介入で済む
- ・ 診察までがスムーズ
- ・ カルテ入力時間が短縮した
- ・ コピペが便利
- ・ 移動時間が省ける
- ・ 看護師サイドの発熱外来の回転率が上がった
- ・ 診察・検査までの時間が速くなった



デメリット

- ・ 情報が多くてカルテが見にくい
- ・ 内容が十分ではない
- ・ 高齢の方は使用が難しい
- ・ 情報が多すぎて見にくい
- ・ 入力された情報だけでは直接顔が見えない為状態が分かりにくい
- ・ 追加問診すると入力された情報と違う事がある
- ・ 人によっては全く内容が入っていない



考察

AI問診導入の成果

- 1 問診時間（追加問診時間を含む）の減少・削減
- 2 カルテ入力時間の大幅な減少
- 3 職業感染予防
- 4 問診の統一性の担保

1) 問診時間（追加問診時間を含む）の減少・削減



2) カルテ入力時間の大幅な減少



問題点

患者自身の入力精度

(特に高齢者は電子機器になれていない為、
入力を中断してしまう)



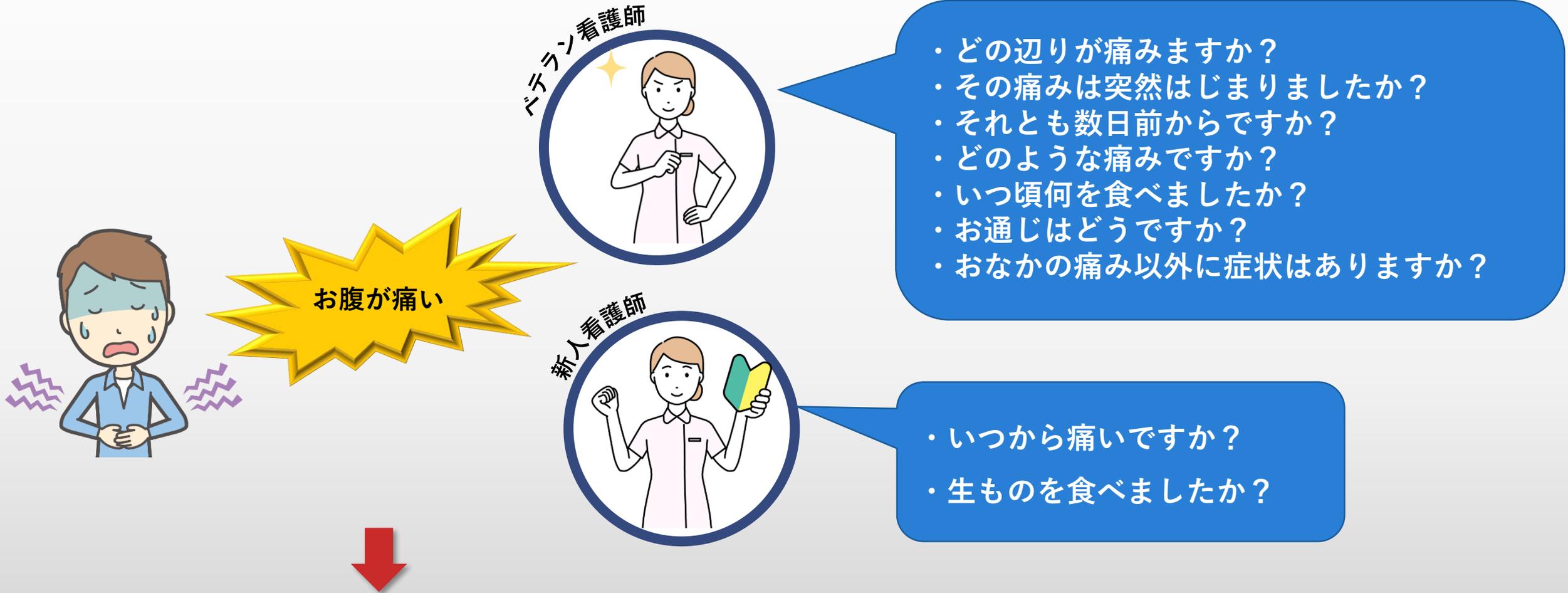
入力補助や案内は必要

3) 職業感染予防



- 
- ・ 看護師の身体的・精神的負担の軽減
 - ・ 流行性感染症からスタッフの身を守る

4) 問診の統一性の担保



問題点：看護師の経験によって問診の質のばらつき

おわりに

- ・ AI問診を導入し業務の効率化を果たすことができた。
- ・ 非専門職へタスクシフトすることで、看護師の業務負担の軽減につながる。
- ・ 今後導入科を拡大する予定である。

テクノロジーに依存するだけではなく、患者のニーズに沿った対応ができるよう個々のスキルアップを目指していきたい。

ご清聴ありがとうございました

